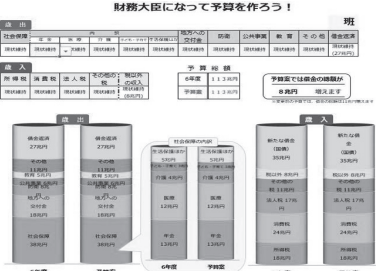


プログラム名	財政教育プログラム		
団体名	財務省 関東財務局 東京財務事務所	区分	講
対象者	小中高他	対象分野	学校
対象者のオーダーに合わせたプログラムを行います。 大学生も対象としています。			

プログラムのねらい	
・難しそうに見える日本の財政に興味を持ち、社会問題を「自分事」として捉え、自分たちの国の将来について考え、判断できる知識を育む。 ・国からの受益（社会保障支出）と負担（国民負担額）の両面性（トレードオフ）の理解を深めることができる。 ・反対意見や疑問を持った人たちに納得してもらえる説明をすることの難しさ、多面的な見方が重要であることを感じることができるようになる。	
プログラムの内容	必要コマ数 2コマ
【プログラムの流れ】※時間は目安です。	
①講義（30分） ・自己紹介、本日の流れの説明 ・財政の講義 講義では、子供たちに身近な「公共サービス」や「公共施設」を入口にして、クイズを取り入れながら説明します。 ②グループワーク（30分） 「財政の講義」を踏まえ、タブレット端末等を活用したグループワークを行います。子供たち同士で意見を出し合い、予算案を編成してもらいます。ワーク中は、職員が質問対応やアドバイスを行います。 （グループワークの内容） ・「日本村の予算を作ろう！」（主に小学生向け） もし、日本が100人の村でその予算が100万円だったら？というシミュレーション。どのような予算にすれば、村の未来が良くなるかを考えます。 ・「財務大臣になって予算を作ろう！」（主に中学生向け） 子どもたちに財務大臣になってもらい、日本をどんな国にしたいかという考えをもとに、グループで予算案を作ります。 ・「社会保障改革プランに挑戦！」（主に高校生以上向け） 今の日本の社会保障制度は、受益と負担がつりあっていない状態です。より良い日本の未来を実現するためには、どのような制度改革が必要かを考えます。 ③発表（30分） 各グループから予算案とアピールポイントを発表してもらいます。発表後には、発表者グループと他の子供たちによる質疑応答を行います。	
	
【グループワークの様子】	
	
【シミュレーションツール】	
令和5・6年度実績	☐小学校 ☒中学校 ☒高校 ☐特別支援学校 ☒その他（ ） 令和5年度実績（都内） 10校（回） 令和6年度実績（都内） 6校（回） ☒教科（公共、公民、グローバル経済） ☐道徳 ☒総合的な学習の時間 ☒特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） ☐教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） ☐教員対象研修 ☐PTA等保護者対象研修 ☐学童クラブ・児童館等のイベント ☐その他（ ）

支援活動の概要紹介	
・日本の財政を自分たちにかかわる課題として感じてもらうため、「自分の将来のために日本の未来を考える」をテーマに、アクティブラーニング（タブレットを使用した予算編成のグループワーク）を取り入れた授業を行っています。 ・小学生から大学生までを対象に、教員等と相談しながら、授業の進捗状況や学年レベルにあったオーダーメイドの授業を実施します。 ・職員が講師及びアドバイザーとして授業を行い、児童・生徒のグループワークをサポートします。 ・グループワークを行うので、基本的には2コマ必要となりますが、1コマでも対応可能です。	
対応可能な時期	日程が合えば随時可能 夜間休日は応相談。 開催希望日の3か月前までにご連絡ください。
必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品 などについて	定員：決まりはありませんが大人数の場合、グループ数に応じた職員（アドバイザー）をご用意する必要があるため、お早めにご相談ください。 必要備品：講師用パソコン（PowerPointが使用できるもの）、プロジェクター、スクリーン、グループに1台のタブレット端末（※） （※）タブレット端末は、必要個数によってはこちらで準備をすることが可能です。お早めにご相談ください。
連絡先	部署名・担当者
	東京財務事務所 総務課 企画係 太田、船越、東海林
	プログラム紹介 WEB
	https://lfb.mof.go.jp/kouza/zaisei_program.html
	電話
	03-6686-3434
	e-mail
	koho.tokyo@kt.lfb-mof.go.jp